



友だちと出会う

前号の最後に、「周囲の友だちのイイ面を認めあい高めあう関係を築き、「生涯の友」と呼べるような存在を見つけてほしい。そして、日比谷高校のイイ面とたくさん関わるような学校生活を送ってほしい。」と書いた。

しかし、自分は友だちを作るのが下手だなぁと思っている人もいるに違いない。周囲の人がどんどん友だちを作っているように見えるのに、自分にはまだ…と焦ることもあるかも知れない。でも、本当に気の合うイイ友だちなんて、そんな簡単には見つけれられないものだ。だから焦ることはない。これから行事があったり、部活に本入部したり、補習に出てみたり、SSHの活動に参加してみたりする中で、自然に友だちはできていくだろう。だから、繰り返すが、無理をしたり焦ったりする必要はない。

*

日比谷には色々な意味でレベルの高い人が集まっているせいか、足を引っ張りあうよりは、積極的に何かを創り上げる雰囲気ができているように思う。その分、意見や考え方の違いが対立する場面も出てくるが、そこをうまく（ネット上ではなく、面と向かって）調整していくことも大切な能力であろう。引っ込み思案にならず、喧嘩もするが優れた点は素直に認め合える、そんなクラスになれば理想的である。（もちろん、この実現はなかなか難しい…）

担任は、君たちから相談された時と、注意を与えて反省を促さなければならない時以外は、なるべく口を出さないようにしたいと思う。これから君たち一人一人が中心となって、

この13Rを創り上げ運営して行ってほしい。体育大会のTシャツをデザインしたり、合唱祭で歌う曲を決めたり、星陵祭の演目を決めたりするのは、すべて君たち自身である。そういうことに積極的に関わる中で、勉強も含め、さまざまな面で力を発揮することのできる本当の「日比谷生」になってゆくのである。

さて、明日は自己紹介、明後日はクラスの委員決めをする。これも友だちと出会うチャンスである。しっかり考えておこう。

<委員・係> *全員がどれかを担当する

- ▼学級＝HR運営。行事の際には各委員に協力する。まずは体育大会Tシャツ作りから。
- ▼美化＝当番割当、監督先生と打合せなど。
- ▼保健＝健康診断。「保健だより」の編集。
- ▼体育＝授業の連絡。球技大会の運営手伝い。
- ▼図書＝カウンター当番、蔵書点検。雑誌「リブリア」の編集。
- ▼合唱祭＝全体運営の人＋クラス運営の人。大変だがネットワークを広げられる仕事。
- ▼星陵祭＝全体運営の人＋クラス運営の人。これまた大変だが日比谷を満喫できる。
- ▼新聞＝「日比谷高校新聞」の編集。
- ▼放送＝集会や行事、昼休みの放送。
- ▼雑誌＝雑誌「いてふ台」の編集。
- ▼選管＝生徒会選挙の管理・開票など。
- ▼出席簿＝皆勤を目指したい人向け。
- ▼号令＝声の通る人。授業をピシッとさせる。
- ▼黒板＝着実にキレイ好きな人。
- ▼遠足・旅行係＝遠足、修学旅行関係。
- ▼総合＝「総合的な学習の時間」の連絡。
- ▼学習＝ノートやプリントの回収・提出。